

特別支援学級 自立活動学習指導案

日 時 令和2年11月12日（木）5校時

場 所 なかよし教室1

児 童 なかよし学級1組（知的障がい）

3年男子1名 5年女子1名 6年男子1名

なかよし学級2組（自閉症・情緒障がい） 4年男子1名

なかよし学級3組（病弱・身体虚弱） 6年女子1名

指導者

1 題材名 「すごろくトーク」

自立活動区分〈3 人間関係の形成〉

(1)他者との関わりの基礎

〈6 コミュニケーション〉

(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

2 題材について

(1) 児童について

なかよし学級は、上記のように障がい種の異なる児童が5名在籍している。児童によって、なかよし学級での学習と通常学級での学習の時間配分が違っている。

知的障がいの3年男子（R）は、今年度からなかよし学級在籍である。Rは、話を聞くことや読むこと、書くこと、話すことが難しいときがある。5年女子（M）は、1年生からなかよし学級で学習をしている。明瞭な発語がないため、意思疎通が難しいときがある。6年男子（H）は、昨年9月に本校に転入してきた。書字力が弱く、自分から発表することが難しいときがある。

自閉症・情緒障がいの4年生男子（A）は、昨年度から在籍している。話を聞いて理解することが難しいときがある。

病弱・身体虚弱の6年生女子（I）は、3年生の時に病弱学級のある本校に転入してきた。周囲への過度な気遣いがみられる。

(2) 題材について

自立活動の指導は、個々の児童が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動であり、個々の児童の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に即して指導を行うことが基本である。

本校において、3つの学級共通の自立活動の時間を火曜日5校時に設定している。ここでは、5人の児童が共に同じ場所と時間を共有し、ソーシャルスキルトレーニング（SST）とコグネティブトレーニング（コグトレ）を実施している。

今回の「すごろくトーク」は、障がい種の違う児童が、自立活動を一緒に行う中で、それぞれの児童が、自分で考えたり、書いたり、話したりする活動ができる題材である。そして、個々が適切な支援を受けながら、他者とかかわり、双方向的なコミュニケーションをすることができると考えた。

(3) 指導にあたって

それぞれの児童の困難さをおさえながら、つまずきを予想して支援する必要がある。また、児童同士、各担任がそれぞれの児童のよさを認め合いながら活動できるよう、雰囲気作りを心がけることが大切であると考える。

| 障 | 児童のよさ | 児童が抱える困難さ | 各自の目標 | 予想される支援 |
|-----|---------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---|
| 3年R | ・物怖じしない。 | ・言葉だけで理解すること。 ・みんなの前で発表すること。 | ・自分の思いや考えを最後まではっきり話すことができる。 | ・質問に対しての答えを書くように促す。 ・メモしたことの発表の仕方（話形）を伝える。 |
| 4年A | ・聞かれたことに対して答える。 ・話し好き。 | ・意味をはき違えてとらえてしまうこと。 ・譲らない頑固さ。 | ・友だちの感想や質問に素直に答えることができる。 | ・考えを否定された場合、冷静になって考えるよう声をかける。 |

| | | | | |
|-----|--|---|---|---|
| 5年M | <ul style="list-style-type: none"> 興味があることに集中して取り組むことができる。 簡単な指示に反応することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のことを伝えること。 気温や体調によって感情の起伏が激しいこと。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級の人々と楽しんでも活動することができる。 2枚のカードから自分の思いに合うカードを選ぶことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 選択できるように本児用の絵カードを活用する。 |
| 6年H | <ul style="list-style-type: none"> 一生懸命話を聞いてみんなに合わせてようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや気持ちを表現すること。 | <ul style="list-style-type: none"> みんなに聞こえる声ではっきりと話をするることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自信をもって自分の考えを言えるように声をかける。 |
| 6年I | <ul style="list-style-type: none"> 自己表現がよくでき友だちのよさを認めている。 | <ul style="list-style-type: none"> 人のことが気になりすぎて、思わず手や口を出してしまうこと。 | <ul style="list-style-type: none"> 友だちのよいところをはっきりと伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 話をしすぎないように、本児のよさも認めながらセーブさせる。 |

3 本時の指導

(1) 目標

- 自分の思いや考えを相手に分かるように伝えることができる。
- 他の人の考えに関心をもって聞き、受け止めることができる。

(2) 展開

| 段階 | 学習活動 【 】 自立活動の項目 | ○具体的な活動 ・支援、指導事項 ※評価 | 主な役割 | 教材・教具 |
|----------|---------------------------------------|--|------|---|
| 導入 3分 | 1 あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> 全員が起立したことを確認してから号令をかけさせる。 | T 1 | <ul style="list-style-type: none"> ホワイトボード |
| | 2 学習の流れについて確認 | <ul style="list-style-type: none"> 活動の流れについて視覚的な表示で示しながら説明をする。 | | |
| 展 開 | 3 今日のめあて | <p>みんなですごろくトークをたのしもう</p> | T 1 | <ul style="list-style-type: none"> 小黒板 |
| | 4 ウォーミングアップ (コグトレ) (5分) 【環境の把握】 | <ul style="list-style-type: none"> 全員でめあてを読み上げることができるよう声をかける。 ○ 注意力をつけるトレーニングをする。 ○ 聞く力をつけよう「最初にポン」 <ul style="list-style-type: none"> 動物が出てきたら手を叩くように促す。 学習のウォーミングアップとして集中して聞くように声をかける。 ○ M児：シール貼り | T 3 | <ul style="list-style-type: none"> プリント |
| | 5 すごろくトーク 【人間関係の形成】 【コミュニケーション】 | <ul style="list-style-type: none"> ① すごろくトークの内容についての自分の答えを考える。(書く活動) (内容) 好きなこと(遊び・食べ物・色・動物・給食・勉強) 将来なりたいものなど ○ M児：聞かれたことに絵カードで答える。(2択で選ぶ。) ② すごろくトークのやり方を確認する。 自分の番になったらサイコロを振って、出た目の数だけ進む。そこに書かれた題のことを話したり行ったりする。 | T 1 | |
| | | T 2 | | |

